

社会

2016年6月3日 16時03分

梶田さんら4人に中日文化賞 名古屋で贈呈式

第69回中日文化賞の贈呈式が3日、名古屋・栄の中日パレスであり、学術や文芸の分野で優れた業績を挙げた受賞者4人に、白井文吾中日新聞社会長から賞状と正賞の腕時計、副賞の200万円が贈られた。

白井会長は「今年は細胞の働きから宇宙の神秘に迫る研究、無限の広がりを持つ詩の世界まで、幅広い分野で活躍する皆さまに賞を贈ることができた。皆さまの業績は時代を切り開き、未来をつくり出す大きな力になることでしょう」とあいさつ。受賞者はスピーチで自身の歩みを振り返り、自由な研究を可能とする平和への思い、仕事仲間や家族への感謝などを語った。

同賞は日本国憲法の施行を記念して1947年に本社が制定。今回を含め353人と9団体が受賞している。

新たな受賞者と業績は次の通り（五十音順）。

カリフォルニア工科大学フレッド・カプリ冠教授 大栗博司氏（54）＝米国カリフォルニア州。『素粒子論に現代数学を取り入れた最先端理論の開発』▽東京大学宇宙線研究所所長 梶田隆章氏（57）＝埼玉県越谷市。『素粒子ニュートリノに質量があることを示すニュートリノ振動の発見』▽詩人・文芸評論家 北川透氏（80）＝山口県下関市。『現代詩の実践と近・現代詩史論の体系化』▽名古屋大学大学院理学研究科教授 森郁恵氏（58）＝名古屋市昭和区。『神経回路の情報処理機構に関する研究』

（中日新聞）



中日文化賞を受賞する大栗博司さん（中）。右は京子夫人＝3日、名古屋・栄の中日パレスで